

著書紹介

Academic Library

著者自らが新刊を紹介します。



「展望 現代の社会心理学2 コミュニケーションと対人関係」

心理学部准教授 小川一美（共著）

（編者：相川充・高井次郎）

▶A5判/322ページ/誠信書房/
4,000円+税/2010.4.20発行

▶日本社会心理学会50周年記念シリーズの第一弾として刊行され、人間のコミュニケーションに的を絞って解説した書である。第一部「人に伝える」、第二部「人と関わる」、第三部「関係のなかで生きる」で構成されており、著者は「第1章 対人場面のコミュニケーション」を執筆した。



「体験で学ぶ社会心理学」

心理学部准教授 小川一美（共著）

（編者：吉田俊和・元吉忠寛）

▶B5判/198ページ/ナカニシヤ出版/
2,000円+税/2010.4.20発行

▶社会心理学で取り上げる多様なテーマや現象を「体験しながら学ぶ」ことに力点をおいて解説した書である。著者は「第9章 対人コミュニケーション」を執筆したが、体験用課題を通して、読者自身の対人コミュニケーションを見つめ直してもらうことを目指した。



「十七世紀英文学と科学」

文学部教授 久野幸子（共著）

▶B5判/272ページ/金星堂/4,800円/
2010.5.30発行

▶英国では十七世紀、実験と理論によって社会を読み解く科学が始まり、社会と宗教との関係も新たな局面を迎えていた。執筆した「宮廷説教者ジョン・ダン—アモス説教の場合—」と題する論文では、内乱に向かおうとしていた当時の英国社会における政治と宗教と個としての人間との関係を追求した。



「音の万華鏡・音楽学論叢」

大学院教育学研究科教授 岩井正浩

（共編：藤井知昭・岩井正浩）

▶A5判/465ページ/岩田書院/
9,500円+税/2010.7発行

▶岩井正浩退官記念論文集。民俗芸能、日本音楽、諸民族音楽、音楽療法、感性メディア、芸術文化行政、音楽教育など音文化に関する論文22編で構成。巻頭論文は岩井正浩による「四国3収容所におけるドイツ軍俘虜の音楽活動」。